9. 保守点検

⚠ 警 告

●薬品を間違えると爆発や有毒ガスが発生し大事故の原因となることがあります。

⚠ 注 意

●点検や薬液投入の際は必ず使用している薬液に応じた保護具
（ゴム手袋、マスク、保護メガネ、耐薬液作業服など）を着用してください。

お願い

●タンク内部や継手類などは 3 ヶ月に 1 回点検を行ってください。
●タンクのひび割れ、変形、変色などがないかを確認してください。
●タンクの継手部分より液漏れがないかを定期的に確認してください。
●タンクの据付状況に変化（土台等）はないかを確認してください。
●薬液タンクの液量は充分入っているかを確認してください。不足していれば補給してください。
●タンク内に不純物、ゴミ等がたまっていないかを確認してください。

10. 保証について

●保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。
●保証期間中で正常なご使用にもかかわらず当社の設計・製作上の不備により故障や破損が発生した場合には、無料修理または交換させていただききます。
●本製品の保証は日本国内で使用される場合に限ります。

株式会社 トーケミ
TOHKEMY CORPORATION

本　　社　〒532-0021 大阪市淀川区田川北1丁目12番11号
電話(代)（06)6301-3141 FAX(06)6308-6228
URL: http://www.tohkemy.co.jp

大阪支店　〒532-0021 大阪市淀川区田川北1丁目12番11号
ろ過営業部　電話(代)（06)6301-5627 FAX(06)6308-7559
流体機器営業部　電話(代)（06)6302-4953 FAX(06)6308-7911
外国課　電話(代)（06)6301-6460 FAX(06)6308-3022
名古屋営業所　〒466-0854 名古屋市昭和区広路通6丁目12番地
電話(代)（052)752-2511 FAX(052)752-2633
金沢出張所　〒920-0022 金沢市北安江4丁目8番29号
電話(代)（076)234-1780 FAX(076)234-7571

東部支店　〒110-0016 東京都台東区台東1丁目19番2号
流体機器営業部　電話(代)（03)5817-2022 FAX(03)5817-2035
ろ過営業部　電話(代)（03)5817-2025 FAX(03)5817-2033
機器営業部　電話(代)（03)5817-2028 FAX(03)5817-2035
仙台営業所　〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目11番6号
電話(代)（022)297-2371 FAX(022)297-2372
北関東営業所　〒370-0844 高崎市和田多中町398-1 パルネット山口1-102
電話(代)（027)330-5670 FAX(027)330-5672
札幌出張所　〒003-0022 札幌市白石区南郷通12丁目南6番8号
電話(代)（011)866-1866 FAX(011)866-9391

西部支店　〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目17番17号
九州営業部　電話(代)（092)473-4590 FAX(092)473-4599
広島営業所　〒730-0802 広島市中区本川町1丁目1番22号 デルタビル
電話(代)（082)291-7502 FAX(082)291-7519
岡山出張所　〒700-0971 岡山市野田2丁目4番1号 シティセンタービル
電話(代)（086)245-1152 FAX(086)245-1085
宮崎出張所　〒880-0032 宮崎市霧島3丁目82番地
電話(代)（0985)29-9388 FAX(0985)28-0918

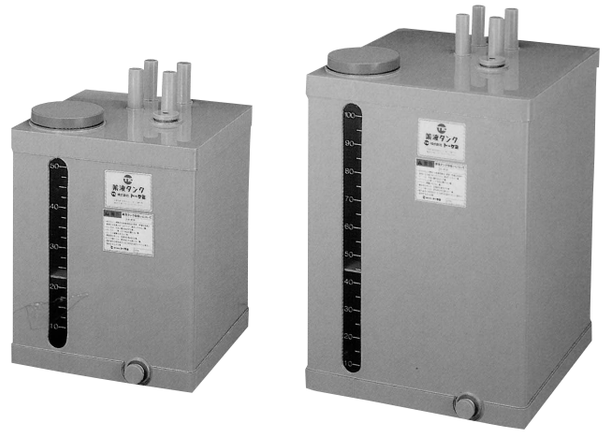
取扱説明書番号	HT-T503-03

2013-9-100SS

ケミカルタンク

PVC製・PE製

取 扱 説 明 書



ご使用前にまず取扱説明書をよくお読みください

お　願　い

本取扱説明書は必ずご使用される担当者の手元に届くようにご配慮ください。

株式会社 トーケミ
TOHKEMY CORPORATION

※デザイン・仕様等は改良の為予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

目次

1. はじめに …… 1

2. ⚠安全にお使いいただくために …… 1

3. 使用条件 …… 2

4. 取扱い上のご注意 …… 2

5. 納入時の確認 …… 3

6. タンク設置場所のご注意 …… 3

7. 配管方法のご注意 …… 4

8. タンク図面 …… 5

9. 保守点検 …… 裏表紙

10. 保 証について …… 裏表紙

改訂履歴

※取扱説明書番号は、本説明書の裏表紙の右下に記載してあります。

新規作成／改訂年月	※取扱説明書番号	新規作成／改訂内容
2013年9月	HT-T503-03	改訂・増刷
2005年10月	HT-T503-02	増　　刷
2003年2月	HT-T503-01	改訂・増刷
1999年9月	HC-T0103-00	新　規　作　成

1. はじめに

このたびはケミカルタンクをご購入いただき、ありがとうございます。
本取扱説明書は、ケミカルタンクを正しくご使用いただくための取扱い、留意点について述べてあります。
誤った取扱いはおもわぬ事故を引き起こしますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書を熟読され、正しくご使用ください。
なお、本説明書はご使用になるお客様の手元に必ず届くようにご配慮お願いします。

2. ⚠安全にお使いいただくために

据付・運転・保守・点検の前に必ずこの取扱説明書をすべて熟読し、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟読してからご使用ください。
この取扱説明書では安全に正しく取り扱っていただく為内容を次のよう区分して表示しています。
どれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警 告	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、人が傷害を受ける可能性、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	機器そのものの性能寿命確保のため、必ず守っていただきたい内容を示しています。

なお、 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

3. 使用条件

⚠ 注 意

●このタンクは液体を貯槽する用途以外には使用しないでください。事故の原因となります。
●直射日光をさけ、雨風にさらされないようにしてください。
●タンク天板に重量物を置かないこと。天板が破損するおそれがあります。
●ポンプや攪拌機などと組み合わせてご使用される場合は担当者にご確認ください。
●比重の重い薬品を使用すると変形する場合があります。一度ご相談ください。

4. 取扱い上のご注意

⚠ 警 告

●管理者以外の人や子供の手に触れない場所に設置してください。
●薬液を出したり、入れたりする時はタンクに加圧、減圧がかからない様にしてください。破損や破裂の原因になります。
●他の薬品と混合すると、有害なガスを発生する恐れのある薬品のタンク内での混合は充分注意してください。

⚠ 注 意

●タンク内で温度が４５℃以上に発熱する高濃度薬品の希釈、貯蔵は容器が変形、破損する危険がありますので絶対行わないでください。
●タンクに衝撃を与えたり、破損や異常が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。
●薬液投入の時、作業時には必ず使用している薬液に応じた保護具（ゴム手袋、マスク、保護メガネ、耐薬液作業服など）を着用してください。
●タンクは樹脂製ですので近くで火気は使用しないで下さい。変形、破損、火事の原因になります。
●薬品の入れ間違いを防ぐため、必ず薬品を確認してから投入してください。
●紫外線及び経年変化による劣化又は異常がみられた場合は、直ちに使用を中止して販売店または当社にご連絡ください。破損または事故の原因となります。
●薬品を投入後異常が見られた場合即座に投入を中止して、販売店または当社にご連絡下さい。

お願い

●タンク内で薬品を希釈する場合は、その薬品に対する希釈方法（手順・濃度）を守ってください。

5. 納入時の確認

●タンク納入時、梱包を荷ほどきし運送中の振動や衝撃で破損が無いか確認してください。
●ご注文通りの仕様タンクかを確認してください。
●タンクによって固定金具が標準付属されていますので、箱の中を確認してください。
●指示された薬品名シールが貼りつけてあるかを確認してください。
●ネジ類が緩んだり、外れたりしていないかを確認してください。

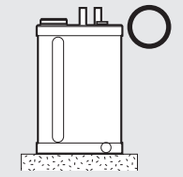
※細心の注意を払って出荷しておりますが、万一お気付きの点がございましたら、販売店または当社までお知らせください。

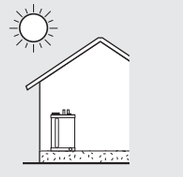
6. タンク設置場所のご注意

⚠ 警 告

●管理者以外の人や子供の手に触れない場所に設置してください。
●建屋に設置する場合は、人体に害するガスが発生する薬品も有りますので、換気や風通りを良くしてください。
●標準仕様のPVCタンクは液比重が1.3を越えないようにしてください。
●特殊仕様のPVCタンクは設計比重を越えないようにしてください。
●比重限度を越えた溶液を入れるとタンクが破損し、人身事故につながる恐れがあります。

⚠ 注 意





●タンクは突起物のない平面に置きタンク固定金具で固定してください。
●傾いた場所や地盤の軟らかい不安定な場所に設置すると転倒する恐れが有りますので正しく設置してください。
●温度の上がる場所には設置しないでください。
●直射日光をさけ、雨風にさらされない場所に設置してください。
●アングル架台に乗せる場合は、タンクの底板全面に補強を必ず設けてください。
●寒冷地で薬品を貯蔵する場合、冬季にタンクや配管内で薬液が凍結し、タンク及びその周辺を破損することがありますので、加温装置や保温装置を必ず取付けてください。
●衝撃や振動のない場所に設置してください。
●保守点検がしやすように周囲に充分なスペースを取ってください。

7. 配管方法のご注意

⚠ 注 意

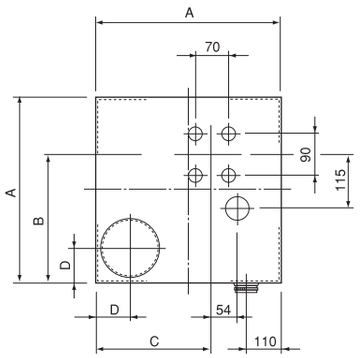
●フランジの付いているタンクはフランジ面にテープを貼り付けていますので、テープを取り外してから配管やフランジを取付けてください。
●溶接フランジと相フランジの締め付けにおいては締め過ぎないよう充分ご注意ください。
●締め付け過ぎると液漏れの恐れがあります。できれば配管の際にフレキシブルジョイントをご使用ください。
●タンク取付側と配管側とに無理な荷重がかからないように配管し、必ずクッション及びサポートを設けてください。
●水と化学反応すると固化したり、ガスを発生する薬液を使用する場合は、使用する前に必ず水を抜き、乾燥させてから薬液を投入してください。

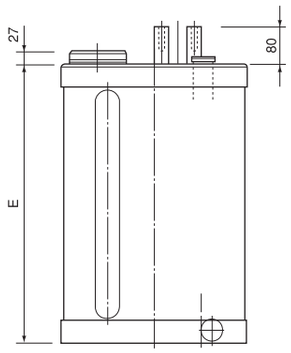
●フィッティングを取付けて出荷した場合、輸送中にナットが緩むことがありますので、組み立て、配管前に必ず確認してください。緩んでいる場合増し締めしてください。
●フィッティング、ナットは左方向へ締めた後パイプレンチで締め付けてください。ナットはポリエチレン、または塩ビ等の樹脂製品ですので、締めすぎるとネジ山がとぶ恐れがありますのでご注意ください。
●フィッティングに配管部品を取りつける場合は、必ずシールテープをネジ部に巻いて取付けてください。
●タンクの据付が完全に終わってから配管してください。
●配管を取付ける場合接続部に負担がかからない様に注意して取付けてください。
●フランジ同志は芯を正しく合わせる様にして取付けてください。無理に合わせると破損や液漏れの原因になります。
●フランジにボルトを締め付ける際、片締めにならないよう均等に締め付けてください。
●パッキン、その他材質を使用する場合は、使用薬品に適した材質の物を使用してください。
●配管が完了した時点で、必ず水張りテスト（満水）を行い、水漏れのないことを確認してください。
●タンク接続部から水漏れしている場合は、タンク本体か接続部分かを確認のうえ、タンク本体から水漏れしている場合販売店または当社にご連絡下さい。
●接続部分から水漏れしている場合水をいったん抜いた後シール部にゴミつまりがないか確認した後、再度組み立てを行って下さい。

8. タンク図面

■外形寸法

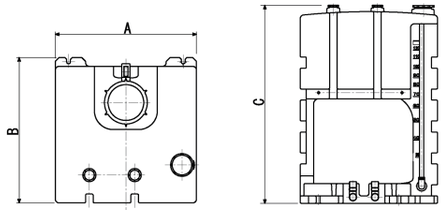
PVC





タンク容量	A	B	C	D	E
50 ℓ	372	280	200	85	460
100 ℓ	450	315	250		610
200 ℓ	499	350	300	100	950
300 ℓ	600	390	330		
500 ℓ	760	445	360	165	1010

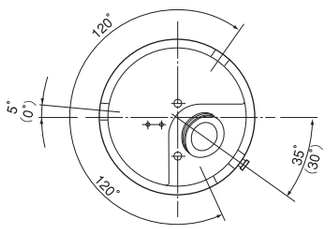
TXS-25, 50, 100

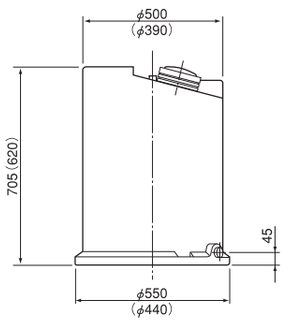


(mm)

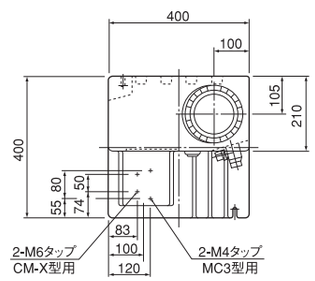
型 式	A	B	C
TXS-25	430	465	(515)
TXS-50	560	465	(670)
TXS-100	560	575	(805)

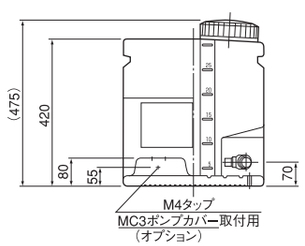
TX-100(TX-50)





TX-25





材 質	型 式	タンク寸法(mm)	容量(ℓ)
PE	TX-25	210×400×475H	25
	TX-50	φ390×620H	50
	TX-100	φ500×705H	100